



立川エリア情報

立川・府中本町・東所沢



JTSU-E 立川エリア

JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION Tachikawa Area

2024.8.01

No.32

**社員の声は聞かない！利用者の声も聞かない！
想定外を想像出来ていますか？鉄道の安全が危ない！！**

【経過】東所沢駅では2024年8月24日初電から武蔵野運輸区構内がATOS化され、これまでの継電連動装置による信号制御が電子連動化されます。これにより信号業務の簡素化・効率化が目指されています。しかし武蔵野線の列車運行を行う際、車両基地からの車両の入出区や車両交換など乗客の安全安心のためには、最終的には人間によるATOSシステムへの介入なくしては安全安心な輸送サービスを提供することは出来ません。それに伴い作業ダイヤの変更が予定されています。安全で安心して利用していただける鉄道を創るため、働く社員からもさまざまな意見を述べてきました。しかし会社からの提示は現場社員の意見を汲み取ることなく、武蔵野線の安全な運行が脅かされるかのような作業ダイヤが提示され実施されようとしています。

■働く社員・管理者が主張していること■

- ・ATOS化され作業自体が継電とは大きく変更になり、切替後の作業に慣れるまでは作業ダイヤ変更時期を待つほしい。
- ・信号担当・副長・営業担当で信号にも入る社員からも、初めて行う作業が多くあり、不安を抱えながら作業することになるので何とかしてほしい。
- ・ATOS化以降に発生する問題を把握してから作業ダイヤを変更してもいいのではないか？
- ・自動化され信号の監視義務が無くなるとはいえ、朝の多くの車両が出区する時間帯に操作できる社員がいないことは安全なのか？



★輸送指令の担当者・八王子統括セ運転指導担当者からも、朝の出区時間帯に車両基地を抱える駅の信号担当者が不在になることは望ましくない。

★副長や営業担当者の不安を極力減らす職場運営が必要である。

★利用者に迷惑がかかることは公共交通を担う鉄道会社として避けなくてはならない。

鉄道利用者の信頼を失いかねない事態は回避しなくてはならない！お客さまも安心して利用できる鉄道・安心して働ける駅をみんなで創ろう！！

会社は現場社員と利用者の声に耳を傾けるべきだ！

その①